資料５

いま、みんなでいっしょに取り組みたい！

食品ロスのこと

☑食品ロスって、なに？

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本では、年間約**523万トン**（令和３年度推計値）の食品ロスが発生しています。

これは、**国民１人１日当たり約114ｇ**の食品ロス量になり、 年間にすると１人当たり約42kg相当のまだ食べられる食品を捨てているということになります。

✓渋川市の食品ロスの状況

渋川市における食品ロス量は年間**約3,877トン**（令和元年度推計値）で、市民１人１日あたりの量にすると**約140ｇ**です。

これは、**毎日1人がお茶碗約１杯**程度（一般的なお茶碗１杯のごはんの重さは約150ｇ）の食品を捨てていることになります。

	年間食品ロス量（R元年度推計値）	平均食品ロス量（１人１日当たり）
全国	570万トン	124ｇ
群馬県	11.6万トン	164ｇ
渋川市	3,877トン	140ｇ

✓食品ロス、なにが問題？

世界の食料廃棄量は年間**約13億トン**（平成29年度）で、食料生産量のおおよそ１／３に当たる量を廃棄しています。

日本の食料自給率（カロリーベース）は**37%**（令和２年度）で、食料の多くを海外からの輸入に依存しています。一方で国民１人が**毎日おにぎり１個**程度の食品を廃棄している状況です。

食品ロスは食料問題

今後、世界の人口増加に伴い、食料難が深刻化する恐れがあります。

食品ロスは環境問題

可燃ごみとして焼却するコスト、CO2排出等の環境負荷が考えられます。

✓渋川市の食品ロス削減目標

基準値（R元年度）	2030年（SDGsのｺﾞｰﾙ）R12年度時点	目標値（R14年度）
3,877トン →	2,585トン →	2,326トン

33%削減！

✓ どうして食品ロスになるの？

食品ロスの**約半分は家庭から**発生しています。

家庭から発生する食品ロスには、以下のようなものがあります。

食べ残し	直接廃棄	過剰除去
食卓にのぼった食品が、**食べきられずに捨てられる**こと	期限切れ等により手つかずの食品が**そのまま食べずに捨てられる**こと	野菜の皮を厚くむき過ぎるなど、**食べられる部分が捨てられる**こと

✓ いま、みんなでできること

「食べきり」

外出時や宿泊時には、自分が**食べられる分だけ**注文しましょう。

30・10運動

宴会時に、乾杯からの**30分間とお開き前の10分間**は、自分の席で料理を楽しみ食べ残しを減らそうと呼び掛けること。

mottECO（もってこ）

飲食店における食べ残しの**持ち帰り**のこと。

「てまえどり」

商品棚の**手前**にある販売期限の迫った食品を積極的に選択すること。

フードドライブ

家庭や職場などで余っている食べものを持ち寄り、地域の福祉施設やフードバンクに**寄付**する活動

フードバンク（活動）

フードドライブなどで集まった食品を、**食べ物を必要とする人へ届ける**団体・活動。

☑ 市の取組：もったいない条例

市は、令和３年４月に「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」**（もったいない条例）**を施行し、食品ロスの削減への取組を進めています。

もったいない条例では、市民・事業者・行政が連携して食品ロス削減のための行動をとることが求められています。

しぶかわフードラブ協力店

市では、市内の食品ロス削減に取り組む事業者を「フードラブ協力店」へ登録する制度を令和４年度から開始しました。

登録店舗数は、
R5年6月末現在52店舗。

渋川市食品ロスなくし隊

大人から子どもまで食品ロス削減の輪を広げるために、市公式YouTubeにて食品ロスについてやさしく楽しく解説しています。

ぜひ、ご覧ください。

フードロス対策自動販売機

市は、令和５年４月から、賞味期限が近くなった飲料や余剰在庫となった飲料を通常価格より安価で販売する「フードロス対策自動販売機」を市有施設４か所へ設置しました。

フードドライブ用資材貸出し

市は、フードドライブの推進・支援のため、フードドライブ用資材（コンテナ及びのぼり旗）を貸し出します。ぜひ、市の資材を活用いただき、フードドライブを実施してみませんか？

渋川市
市民環境部環境森林課
☎２２－２１１４